

2019年7月10日

JLA 関係者各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会  
ライフセービングスポーツ本部  
スポーツ育成委員会

## LWC2020 までの日本代表監督の任期について

拝啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素より本協会の諸事業に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本ライフセービング協会（JLA）では、ライフセービング世界選手権（Lifesaving World Championships：LWC）の国別対抗戦にて総合順位を上げることを目的としてハイパフォーマンスプログラム（HPP）を遂行して参りました。

その HPP で育成された選手の中から日本代表チームが編成され、日本代表監督によって指揮が取られております。その日本代表監督の選任は規程に則り選出されておりますが、以下の理由において任期を変更していくこととなりましたので、お知らせいたします。

敬具

### 記

#### 〈これまでの任期〉

2018年に行われたLWC2018（オーストラリア・アデレード大会）までは、委嘱の日から世界選手権終了までの約2年間としていた。

#### 〈今後の任期〉

2020年のLWC2020（イタリア・リッチョーネ大会）までについては、国際試合に向けて日本代表チームが結成される毎に、それぞれ監督を選任していく。

その任期は、委嘱の日から、それぞれの日本代表チームが解散するまでとする。

#### 【理由】

より多くのコーチに監督経験を積ませることでチームスタッフの総合力をあげる。  
一部のスタッフへの負担が集中しないようにする。

以上

